

## 県内の食材、文化を県外に発信

男鹿興業社 代表取締役社長

くにやす ほうしん  
國安 法伸氏(36)



他界した父に代わって社長に就任し、今年が6年目。以前は全く路線の違う新規事業を進めなければと感じて

いましたが、最近になって本業の石油類総合販売や通信事業、ゴルフ場経営といった自社の強みを、新しい発想と組み合わせながらどう伸ばしていくか考えるようになりました。例えばサービスステーション(SS)運営では、レンタカーやタイヤ交換予約制の導入など、新商品の提案を心掛けています。

学生時代にバスケットボールの選手だったこともあり、社会人バスケのクラブチームを支援しています。学生時代にスポーツで好成績を取めた人が、社会人になっても秋田で活躍できる場所をつくっていかねばと思います。

秋田には食や文化など素晴らしいものがたくさんあります。これからの時代は「地方」がキーワード。地元・男鹿はもちろん、県内各地の食材、文化を県外に発信する取り組みもしていきたいです。

## 「お福分け」商品で秋田に貢献

ローズメイ 代表取締役

はらだ せい  
原田 青氏(41)



ローヤルゼリーやプロポリスなどの健康食品、ジャムや蜂蜜などの食品、ローヤルゼリーとローズウオーターを配合した基礎化粧品…。秋田の薔薇とみつばちの恵みを生かしたこれらの商品を、祖父と父が事業の地として選んだ大仙市太田町の工場で製造し、通販を中心に全国に発信しています。

目指しているのは、手にした人が幸福になれるような商品の提供で、私たちはこれを「お福分け」と言っています。また商品だけでなく、企業としても「あって幸せ、無いと困る」と思ってもらえる存在になりたい。秋田から県外に市場を求めて業績を伸ばしていくことで、雇用や交流人口の増加に貢献できると考えています。

令和の始まりと軌を一にして、当社はロゴデザインを一新しました。「秋田の薔薇とみつばちでお福分けしたい」という思いを強く打ち出すためです。新ロゴでチャレンジする今年を、人口減が進む秋田をどう盛り上げていくか考える年にもしたいと思っています。

## 自分を高める努力、これからも

能代電設工業 代表取締役専務

やまだ ゆうた  
山田 雄太氏(36)



道路関連などの公共工事に携わっているほか、電気設備工事を中心に産業プラントの設置や配管工事などを東北一円で手掛けています。経験豊富なベテランから職人魂や技術が受け継がれ、若手も現場監督を務めるようになっています。

祖父と父が歴史を紡いできた会社で実質的な経営を担っていますが、大学卒業後に一度、「何もできないやつに給料は払えない」と入社を断られました。1年間資格取得の勉強をし「無給でもいいから働かせてください」と頼み込みました。こうした経験から、自分を高める努力を怠ってはいけなと感じました。社員にも「現状維持でいいという考え方は衰退を意味する」と説いています。

人口減少が加速する中、令和の時代は仕事の間として東北、関東や西日本にも目を向け、アグレッシブに行動できる企業にしたい。一方で地元電気工事業界の縮小をにらみ、住民の小さなニーズにきめ細かく応える連携の仕組みづくりも必要だと思っています。



株式会社 男鹿興業社

〒010-1633 秋田市新屋島木町1-98  
TEL.018-828-8905  
<http://www.ogakogyosha.co.jp>  
石油類総合販売ほか



株式会社 ローズメイ

〒194-0022 東京都町田市森野2丁目1-12  
TEL.042-860-6239(代表)  
<https://www.rosemay.jp/>  
食品、化粧品等の開発・製造・販売



能代電設工業株式会社

〒016-0801 能代市浜通町1-45  
TEL.0185-54-4249  
<http://noden.jp/>  
建設業